



スタートした三島駅南口東街区の市民説明会＝三島市民文化会館

三島駅南口東街区再開発

「最上階からの眺望」要望

市やJV 事業説明会に市民ら350人

23日まで
3地区で開催

三島市の「三島駅南口東街区再開発事業」市民説明会が5日夜、三島市民文化会館で開かれた。市民ら約350人が参加。市、事業協力者の共同企業体（JV）が再開発の必要性、開発コンセプト（概要）、提案内容などを説明した。

後、12月の広報やホームページで周知する。説明会で豊岡武土市長が市内の人口の推移や年齢構成の変化などを紹介しながら持続的発展のため必要性を強調した。協定を受け初参加した共同企業体は開発コンセプト、県と市による上位計画との整合性に続いて地下水や湧水の保全姿勢などを説明した。その上で「魅力あるまちづくりを第一に柔軟に対応したい」と話した。

質疑応答は地下水や湧水の影響、完成後の交通量、事業が中止となった際の責任や損害賠償などを危惧する声が開かれた。一方で100近い高層棟最上階から一般市民が眺望できるように要望もあった。

協定前の8月に開催した説明会には多くの市民が来場して会場からあふれたことから今回、小ホールから大ホールに会場を移して事前申し込み制とした。ただ定員1200人に対して申し込みは375人だった。今後は12日に錦田公民館、17日に中郷文化プラザ、23日に北上文化プラザで午後7時から開く。問い合わせは市三島駅周辺整備推進課へ電話055（983）2633へ。

市民ら約350人が参加。市、事業協力者の共同企業体（JV）が再開発の必要性、開発コンセプト（概要）、提案内容などを説明した。